

限られた量の淡水

地球上の水は無限にあると思う人もいるかもしれませんが、そうではありません。

地球は約7対3の割合で海が多いから水がたくさんあると勘違いしてしまいがちですが、地球の水の九七・五パーセントが海にあるので人間が使える淡水は地球全体の水の二・五パーセントしかないのです。しかも、その淡水の七〇パーセントは凍っていて、凍っていない淡水のほとんどが地下水でそのうちの半分は地中深くにあって利用することができません。なので人間が利用できる淡水は地球全体の〇・〇一パーセントしかなく、地球の水をおふろ一杯分として考えると使える淡水の量はスプーン一杯だけだそうです。

このことを国語の時間に勉強し、私は水量はこんなにも限られているんだととても驚きました。

山添村立山添中学校 三年

亀谷 心那

実際に使える量が限られた水ですがこの水は増えることはなく環境の汚染が進み使える量は減り続けています。ですが、人口増加などにより使う水の量は増え続けているそうです。

このままではこの先もっと水が減っていく何十年、何百年後にはなくなってしまうこともあるかもしれません。だから私は、少しでも自分にできることをしたいと思ったので、調べたり考えたりしてみました。

国語の時間に「見えない水」の利用も増加しているという事を学びました。その水のことを「バークヤルウォーター」といい米や小麦を育てるときにもこの水を使います。食べ物だけでなく、工業製品を作るときにも水が使われたりします。

このような水「バークヤルウォーター」を

減らすためにできることは食糧を買う時は自分が必要な分だけ買ったりにして捨てられてしまう食べ物ができるだけ0にすることだと思えます。他にはできるだけ国内生産の食糧を選ぶこともバーチャルウォーターの節水の一つだと思いました。

バーチャルウォーターではない水を減らすためには水の循環になるべく負担をかけない水の使い方をする事だと学びました。

具体的には節水で例えば歯磨や顔を洗う時の口をすすいでる時やあわをあわだてている時なども水をだしたままにしてしまうと三〇秒間でだいたい六リットルの水が流れていくということになります。その水は捨てたという事になり水がとても損をします。

他には「雨水の利用」などがあります。少しの住宅やビルでためられる雨水は少量であつたとしても、たくさんの住宅やビルが屋根に降った雨をためるとびっくりする量の雨水をためることができるといふことになりません。

ですが雨水の利用をするには私だけではできません。家族だけでもできないし、地域や

国の協力が必要になってきます。なので私はまず雨水利用ではなく節水をしていきたいです。私の経験で、夏に家でプールをした時にすべり台の上からずつと水をだしたまま、遊んでたことや、水鉄砲ならまだいいのですがホースを上や友達に向け、かけあいをしていた経験もあります。今思うとすごく水の無駄使いをしてしまつていたなと思います。

私は地球上にある淡水の少なさを学び、自分が進んで節水するだけではあまり変わらなないのでまわりの友達や家族が水を無駄にしていたら注意したりもしていきたいと思ひました。